

個人 8

受付	令和 7 年 11 月 19 日 午前・午後 9 時 00 分
----	------------------------------------

一般質問（代表・個人）通告書

令和 7 年 11 月 19 日

尾張旭市議會議長 殿

氏名 片渕 卓三

尾張旭市議会規則第 50 条第 1 項の規定により 12 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 1 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとに一問一答
<input type="radio"/>	1 回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. 1-1	環境・脱炭素の取組について
要旨	<p>本市では、国の方針に沿って 2030 年までに温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46% 削減するという大きな目標を掲げています。これは、未来の子どもたちのためにも、今を生きる私たちの責任として、確実に取り組んでいかなければならない課題であります。</p> <p>そこで、以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 温室効果ガス削減目標の進捗について</p> <p>現在、市としてこの目標に対してどのような具体的な施策を講じておあり、進捗状況はどうなっているのか。また、住宅や事業所への支援策はどのように展開されているのか伺います。</p> <p>(2) 再生可能エネルギーの導入支援について</p> <p>ア 公共施設への太陽光発電設備の導入について イ 民間住宅への補助制度の活用状況について ウ 災害時における民間住宅の電力確保手段として期待される蓄電池について 活用状況について伺います。</p> <p>(3) 公共施設の省エネ化について</p> <p>公共施設の LED 照明化の進捗状況と、今後の整備計画について伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 1-2	環境・脱炭素の取組について
要旨	<p>(4) 廃食用油の再利用について</p> <p>廃食用油は、バスや発電機の燃料、石けんやプラスチックの原料として再利用され、ごみの削減やCO₂排出の抑制に貢献する脱炭素の取組です。近年では、持続可能な航空燃料（SAF）の原料としても注目されています。</p> <p>地域資源を活用した取組を進めるべきと考え、以下の点について伺います。</p> <p>ア 本市の廃食用油の回収と再利用状況について</p> <p>学校給食や飲食店などから出る廃食用油は、どのように回収され、現在どのように再利用されているのか。その回収方法、さらに回収後の再利用の状況について伺います。</p> <p>イ 家庭からの廃食用油回収の導入について</p> <p>他市では、家庭の使用済み油をスーパーなどで回収し、バイオ燃料やプラスチック原料として活用しています。本市でも同様の事業を導入することで、ごみ削減とCO₂削減が期待できますが、市の所見を伺います。</p> <p>ウ SAF（持続可能な航空燃料）としての活用について</p> <p>廃食用油を航空燃料（SAF）の原料として活用するに当たり、現時点での課題や今後の見通しについて伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。